

## 第1章 情報社会と私たち

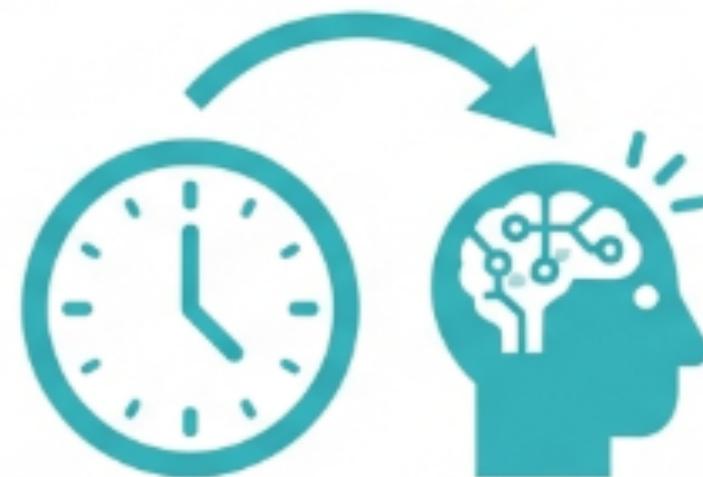
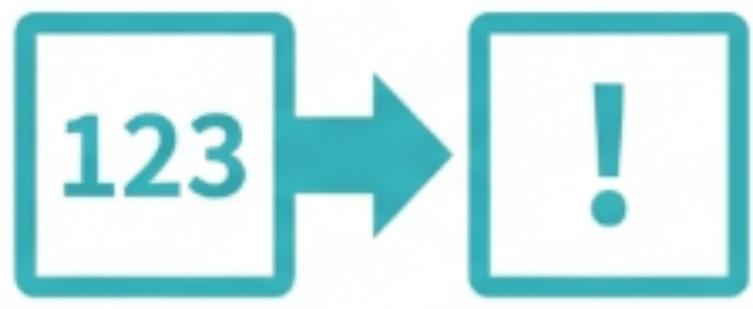
### 1節 情報社会

# 情報社会と情報



# 今回のゴール

「データ・情報」と  
「知識」  
「Society5.0」を完璧に  
マスターする！



# 1

## 情報 (Information) とは？

人見る

- **定義**：事物や出来事の内容や様子を示すもので、受け手に何らかの意味を伝えるもの。
- **役割**：私たちが何らかの行動や意思を決定する際の「**判断材料**」となる事柄。
- **具体例**：
  - 商品のカタログスペック (事実・データ)
  - 購入者のレビューや評価 (判断材料: 情報)
  - 最終的な購入決定 (意思決定)

立場  
意見  
で  
必要な  
情報



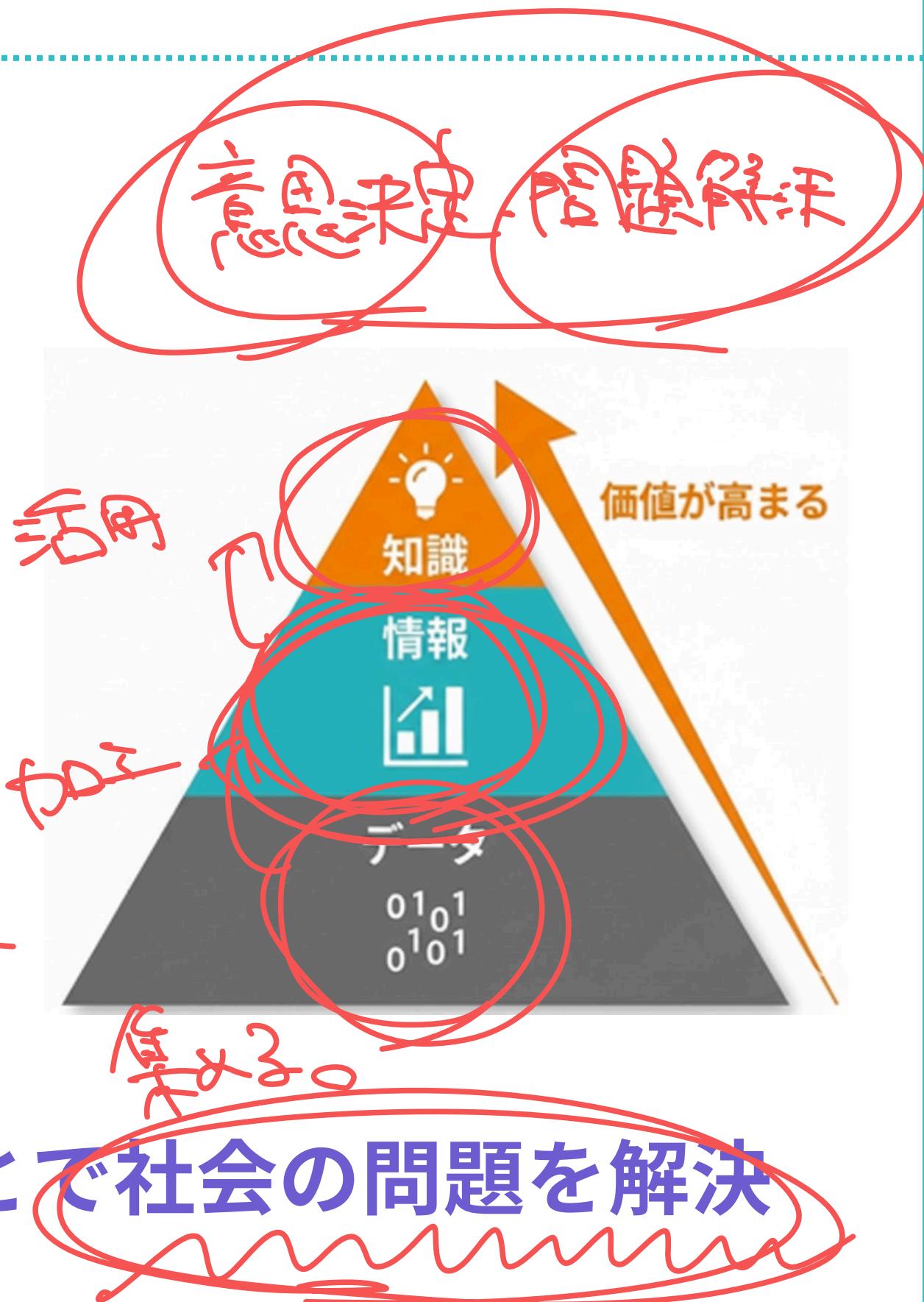
買うか買わない

# 1

## データ・情報・知識の階層

- **データ**: 実験、観察、調査などで得られた「事実」。
- **情報**: データを整理・加工し意味を持たせたもの。
- **知識**: 情報を分析・体系化し、問題解決に役立つようにしたもの。

データを情報に変え、知識として蓄積することで社会の問題を解決



# 1

## ビッグデータ (Big Data)

又食える！

- 情報技術の発達により蓄積・解析が可能になった膨大で多様なデータの集合体
  - **量**：個人の活動やセンサーから発生する膨大なデータ量。
  - **多様性**：テキスト、画像、音声、動画、ログなどの多様な形式。
  - **頻度**：リアルタイムで刻々と収集・更新されるスピード。
- 電子メールやSNS投稿など形式が定まっていない「**非構造化データ**」も含む。



## 1

## 情報による価値創造のサイクル

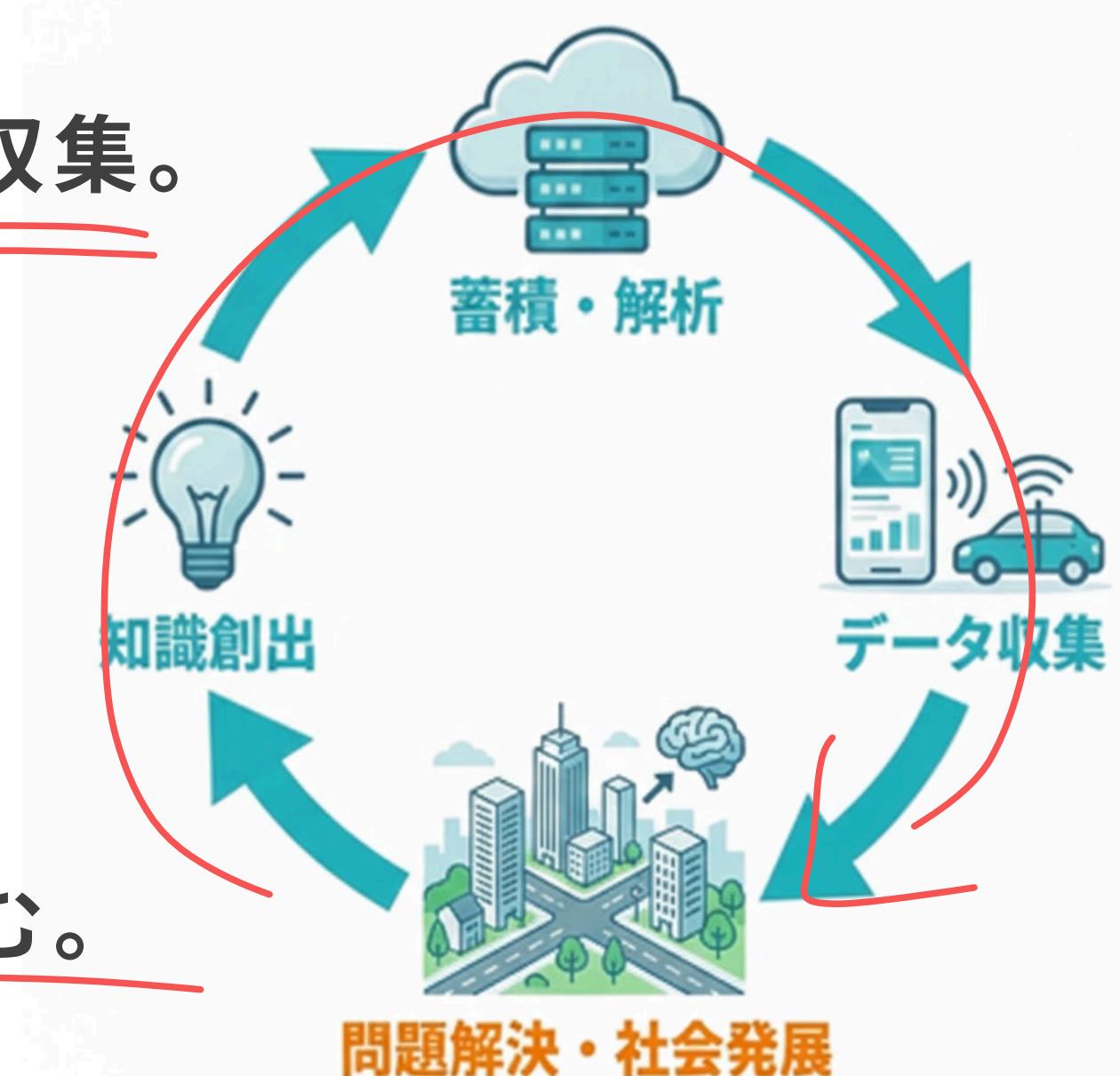
・データ収集：人、モノ、自然、社会から収集。

・蓄積・解析：ビッグデータとして蓄積。

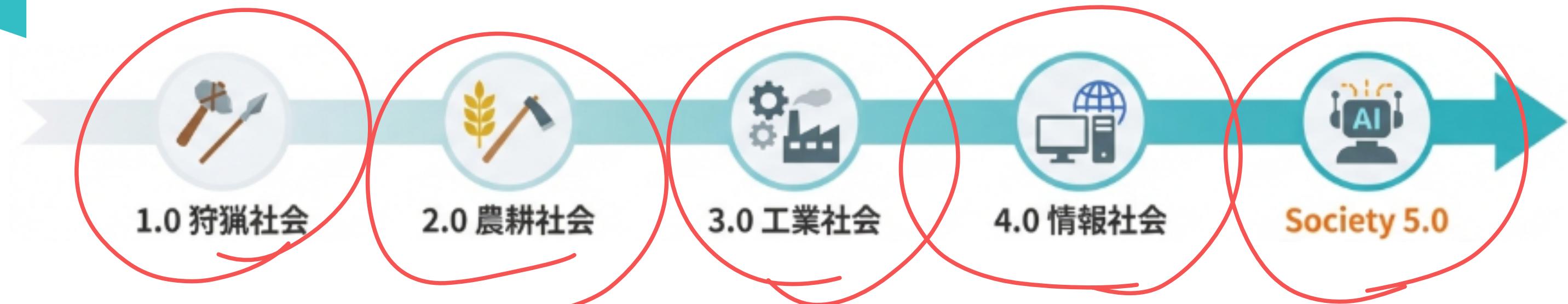
・知識創出：新しい知見や技術を得る。

・問題解決：社会課題を解決し、価値を生む。

経済成長、社会発展、教育・研究の充実につながる



## 社会の発展段階（第1～3段階）



- 第1段階：狩猟社会
  - 狩猟・採集。石斧、弓矢、言葉。
- 第2段階：農耕社会
  - 定住・栽培。文字、天文学、かんがい技術。
- 第3段階：工業社会
  - 18世紀半ば、イギリスで産業革命。蒸気機関、工場での大量生産。

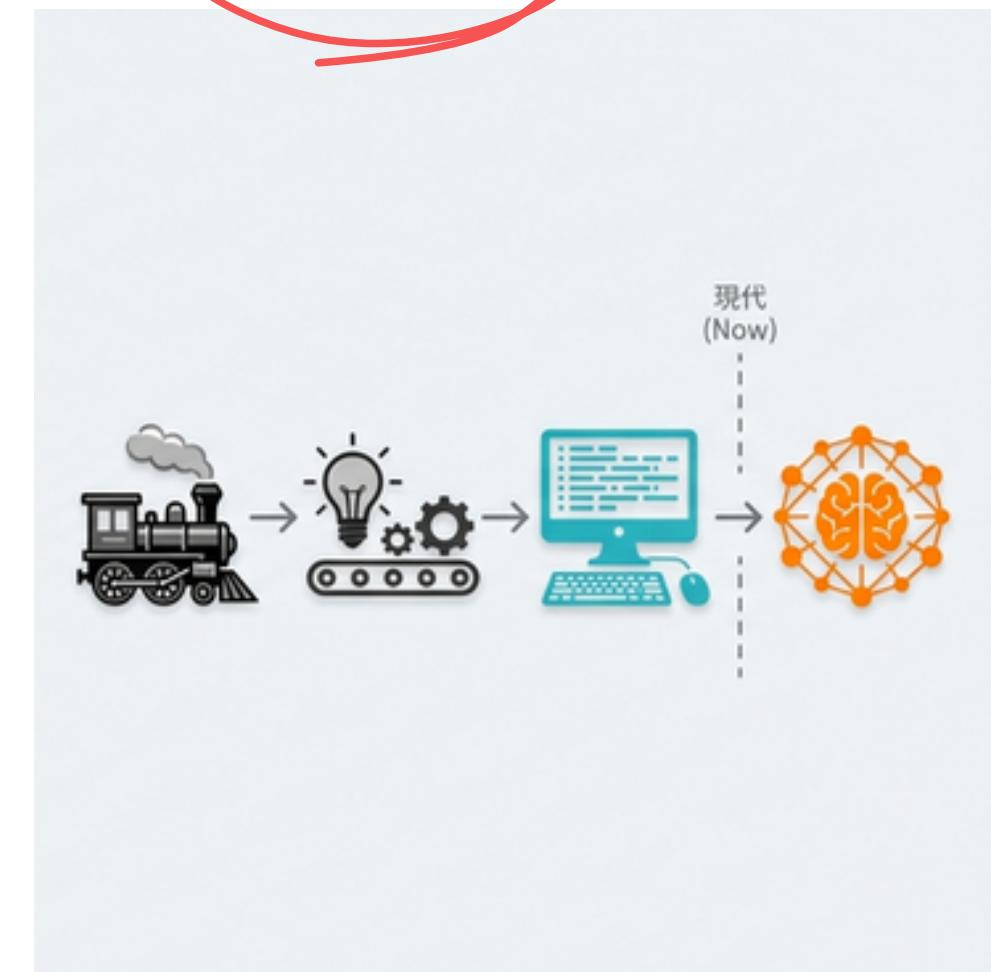


## 2

# 産業革命の4段階



- 第1次産業革命：蒸気機関による機械化。
- 第2次産業革命：電力・石油による大量生産。
- 第3次産業革命：コンピュータによる自動化。
  - 第4段階：情報社会が到来。
- 第4次産業革命：AI・IoT・ビッグデータによる自律化。
  - 現在に至る。



## Society 5.0 (新しい情報社会)

及  
貢  
え  
よ！

家電  
IoT

- 定義：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステム。

- 目的：経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の新しい情報社会を目指す。



狩猟→農耕→工業→情報で、次は「融合」のSociety5.0へ！

# 今回のまとめ

- データは「事実」、情報は「判断材料」、知識は「解決策」。
- この3段階（データ→情報→知識）の理解が基本。
- 現代は「ビッグデータ」を活用して問題を解決する時代。
- 人類は「狩猟→農耕→工業→情報」と進化してきた。
- 次に来る未来社会が「Society 5.0」。
- Society 5.0のカギは「仮想（サイバー）」と「現実（フィジカル）」の融合。





君ならできます！

頑張って！